

## 本時のねらい

普段何気なく聞いている音を通して、音の表情に気付いたり、美しさや面白さを感じ取ったりして、個々の音の特徴に気付く。

## 本時における 1人1台端末の活用方法とそのねらい

ロイロノート・スクールのシンキングツールを使って、みんなで集めた音を分類し、音の特徴に気付く。

## 活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

・電子黒板 ・学習支援アプリ（ロイロノート・スクール）

## 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (15分)	○音には色々な特徴があることを知る。 (強い⇔弱い、長い⇔短い、高い⇔低い、高さが変わる⇔変わらない、一回だけ聞こえる⇔何回も繰り返す)  【写真1】	○ロイロノート・スクールでわかりやすい例を提示して、みんなで音の振り分けの確認をすることができる。
展開 (25分)	○前時に集めた音をよく聞いて、シンキングツール（ベン図）を使って音の特徴（高い⇔低い、高さが変わる⇔高さが変わらない）ごとに分類する。  【写真2】	○子どもたちが集めた音付きの画像を iPad 上に送信し、再生しながら特徴を考えて振り分ける。  ○一人ひとり操作が可能のため、何度でも聞き直すことができる。
まとめ (5分)	○班で交流し、自分の分け方と同じところや違うところを見つけたり、話したりする。  ○ふりかえり  【写真3】	○完成したシンキングツール（ベン図）を見せ合うことで、班での意見交流が活発になる。

## 1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】音の特徴について知る



【写真2】みんなで集めた音をタブレットを使って、特徴ごとに振り分ける場面



【写真3】班でベン図を見せ合って交流している様子

## 児童生徒の反応や変容

・タブレット PC (iPad) を使って、校内の音を集める際、子どもたちは楽しそうに課題に取り組んでいた。写真を撮影し、その画像に音を貼りつける作業は初めてであったが、すぐに操作に慣れ、手際よく振り分けることができた。集めた素材を使って、音の特徴ごとに振り分けられたので、全員がとても意欲的に活動することができた。自分が録音した音が出てくると、とても嬉しそうにしていたのが印象的であった。

## 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

・私たちの身の回りには様々な音が存在する。普段は意識して聞いていないが、耳をすますと様々な音が存在することに気付いてほしいという願いから、この教材で学習活動に取り組んだ。そして、その音を感性で受けとめ、特徴を考え分類することで、身近な音にも興味をもつことができた。  
また、本単元は3時間構成である。第1時は、事前に用意した様々な生活の音をシンキングツールを使って特徴ごとに分類する練習をし、第二時では、校内の音を探して撮影・録音をして提出した。そして、本時の学習活動につながっている。